

1. 教科の目標

【体育分野の目標】

- (1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。

【保健分野の目標】

- (1) 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

2. 年間計画

前 期		後 期	
月	内 容	月	内 容
4	オリエンテーション 体づくり運動	10	器械運動（マット運動・跳び箱） 新体力テスト
5	陸上競技（短距離走・リレー） ダンス	11	器械運動（マット運動・跳び箱） 保健（4章傷害の防止）
6	新体力テスト 保健（3章健康な生活と病気の予防②） 体育理論（2章スポーツの効果と安全）	12	球技（バレーボール）
7	球技（ソフトボール）	1	武道（柔道） スキー 保健（4章傷害の防止）
8	球技（サッカー）	2	武道（柔道） 球技（バスケットボール）
9	球技（サッカー） 陸上競技（長距離走）	3	球技（バスケットボール）

3. 評価の観点（目標）と方法

【体育分野】

知識・技能

各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解しているとともに、各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身につけている。

思考・判断・表現

運動を豊かに実践するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。

主体的に学習に取り組む態度

運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。

【保健分野】

知識・技能

健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康、傷害の防止、健康と環境について、個人生活を中心として科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。

思考・判断・表現

健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康、傷害の防止、健康と環境について、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。

主体的に学習に取り組む態度

健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康、傷害の防止、健康と環境について、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。

評価の観点	方法（評価の資料となるもの）
知識・技能	知識：発言、振り返りシート、ペーパーテスト 技能：実習の様子、振り返りシート（行い方、手順や要点）
思考・判断・表現	思考・判断：発言、振り返りシート（なぜそう考えたのか、自己の生活や仲間の考えなどと比べたり、関連付けたりする） 表現：発言（知識として得た内容をどのように思考・判断したのかを、友達に伝えているなど） 振り返りシート（知識として得た内容を基に思考・判断し、生活の目標を立てたりするなど）
主体的に学習に取り組む態度	教科書の本文やグラフ、資料等から進んで読み取ろうとしている態度 課題の解決に向けて、友達と考えたことを伝え合ったり、話し合ったりしている態度 自己のこれまでの学習したことや身に付けた知識などを確かめようとする態度 自己のこれまでの生活と比較しようとしている態度 課題の解決に向けて、話し合いなどの進め方を決めたり選んだりしている態度

4. 家庭学習や授業のアドバイス

保健の授業については、話をしっかりと聞き、自分の考えを表現できるようにしましょう。また、他の教科とも一緒ですが、家での復習を必ずしましょう。特に大切な語句やその説明をできるようにしておくといいです。

体育の授業については、できるかできないかだけではなく、できるようになるためにどのような工夫をしているのか、努力しているのが大切です。授業の準備や片づけ、授業内の取り組み姿勢も意識しましょう。自分がその技能を身に付けるために、どんな工夫をして、どんな意識をもって取り組むのかを考え、それを振り返ることができるようにしましょう。

5. 授業の決まり事

- ①挨拶・返事・号令などを元気よくする。
- ②勝手な行動・危険な行動をとらない。
- ③運動に適した服装をする。
- ④話は静かに聞き、反応をする。